



# バングラデシュ

正式名称は「バングラデシュ人民共和国」。

南アジアに位置し、北と北東、西をインド、南東部をミャンマーと国境を接し、南はインド洋に面している。国の中央部をガンジス川が流れ、ベンガル湾に注いでいる。

バングラデシュはベンガル語で「ベンガル人の国」を意味する、イスラム教国である。



出典：外務省

## 日本からは…

- ①バンコク経由 - タイ航空を利用の場合、バンコクで一泊必要
- ②シンガポール経由 - シンガポール航空理由で所要時間 約 14 時間
- ③香港経由 - キャセイパシフィック航空利用で 所要時間 約 11 時間



### 一口メモ

- ・国土は日本の約 4 割
- ・世界で 7 番目に人口が多く、人口密度も高い
- ・5 月～9 月は雨期
- ・10 月半ば～4 月は乾期

## 民族

ベンガル人が国全体で 98%を占めるが、プログラム地域にはガロ族、ハジオン族などの少数民族も住んでいる。イスラム教徒が約 90%と多数派であり、ほかヒンズー教、仏教、キリスト教と続く。公用語はベンガル語。

# カルマカンダ地域開発プログラム

首都のダッカから北へ約 220Km、車で約 6 時間に位置するネトロコナ県カルマカンダ郡にて、カルマカンダ地域開発プログラムを実施しています。



支援期間: 1995 年～2019 年 \*\*

支援地域: ネトロコナ県 カルマカンダ郡

\*\*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期していない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

## 地域の課題

### ① 教育の質の低さ:

小学校の施設などの教育環境も劣悪で、小学校の就学率や大人の識字率も高くありません

### ② 保健衛生・栄養状態の劣悪さ:

水などが原因の感染症発生や、井戸水の砒素汚染への対策が必要です。また衛生的なトイレの普及率もまだ高くありません。子どもたちの栄養状態の改善も急務です。雨期には診療施設へのアクセスが悪くなるため、地域での予防的な活動の推進が必要です

### ③ 依然として低い収入・経済状況:

洪水などによって農業生産などに被害が発生します。また、土地を持たない人への収入機会も限られています。毎日十分な食事を取れない人たちも多くなります。また、各コミュニティでの住民組織の能力強化も課題です

### ④ 毎年のように起きる洪水などの自然災害:

毎年のように多くの自然災害に見舞われる Bangladesh の中でも、ひととき洪水が多く、貧困に苦しむ人々を苦しめます。洪水などの災害とともに生きていく地域の体制の強化とシェルターなどのインフラ整備が必要です

地域開発プログラムを通し、こうした課題を少しずつ改善し、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりを目指していきます。

# データでみるバングラデシュ

比べてみると…	バングラデシュ	日本
新生児死亡率 ※①	27人	1人
5歳未満児死亡率 ※②	48人	3人
低体重児出生率	22%	n/a
安全な水へのアクセス率	80%	100%
衛生施設利用率	53%	100%
成人の総識字率	56%	n/a
出生時の平均余命	69歳	83歳
GNI(1人当たりの国民総所得):米ドル	640	42,150

※① 出生時から生後 28 日以内に死亡する確率。出生 1,000 人あたりの死亡数で表す

※② 出生時から満 5 歳に達する日までに死亡する確率。出生 1,000 人あたりの死亡数で表す

出典: ユニセフ世界子供白書 2012 より

- ・新生児死亡数は日本の 27 倍
- ・5 歳未満死亡数は日本の約 16 倍であること
- ・衛生に関する情報が少ないこと
- ・成人における識字率が低いこと
- ・GNIが日本の約 65 分の 1

データから読み取れるだけでも、多くの課題が見えてきます…  
ワールド・ビジョンでは、子ども達を取り巻くこうした課題に、“地域開発”という観点から取り組んでいます。



砒素対策の一環として、雨水を貯める貯水槽を建設しました。住民が主体となり、適切な維持管理のもとで活用していくことが課題です

**教育環境と教育の質が問われています！**

プログラム地域では小学校入学率は国平均の 83%に届かず、平均 72%(男 68.5%、女 76.5%)となっています。また成人識字率は 49.5%と国平均の 61%を大きく下回り、また入学後の出席率/就学率も一定していません。

プログラム地域での高等学校卒業相当の終了試験(10年生終了)の合格率は 4.5%と低く、小学校 3-4 年生でも簡単なベンガル語や英語の単語を読み書きできない生徒が多数いることが報告されています。劣悪な教室環境の整備、教師の教授法の改善により、生徒の理解力を上げ進級につなげる、など、教育の課題は尽きません。



プログラムにより建設された小学校。プログラム地域では土床と竹の皮を編んだマットの壁や草などで屋根をしいた校舎が主流であり、衛生的にも大きな課題となっています

**地域住民が活動に主体的、  
継続的に関わる必要があります！**

多くの自然災害に見舞われるプログラム地域では、毎年、洪水に襲われ、地域に与える損傷、被害は甚大で、貧困に苦しむ人々を苦しめています。洪水によりプログラム活動は遅延し、主産業の農業は大きな打撃を受けます。当初、見込んでいた収穫高に満たない乏しい収入に見舞われることも多く、計画どおりの成果が得られるまでには、予想外に時間がかかります。

こうした厳しい生活状況の中では、子どもたちの健全な成長に必要な十分な栄養を満たす食事を取ることにも難しく、慢性的な栄養不足が与える子どもたちへの悪影響が懸念されています。限られた収入から平均 5 名の一家が生きていくための食糧・住居・生計確保が優先されるため、子どもが定期的に学校へ通うこと、子どもが受ける教育の重要性については、優先順位が低く、二の次にされてしまうことが多いです。

プログラムでは、各家庭レベルでの安定した収入源の確保に努めつつ、子どもに対する教育の重要性について地域の大人たちに啓発し、地域の課題に取り組んでいます。



農業は主産業ですが、  
伝統的な手法のため収穫高は僅かです